

「鶴見校区CSにおける部会ごとの役割分担の明確化と年度を跨いだ取組の継続と改善」 観点Ⅳー15,16

佐伯市立松浦小学校 児童数43名 学級数7
佐伯市立鶴見中学校 生徒数19名 学級数4

目的

- 作業部会ごとの活動計画の作成による役割分担を明確化
- 熟議内容の工夫による年度を跨いだ取組・活動の継続性の確保

作業部会ごとに活動計画に基づいた取組の検証・改善が年度を跨いで行われている。

役割分担の明確化

【学習支援部】

- 「鶴見郷土学」(地域学習等)の推進

- ・ふるさと文化祭
- ・踊りや太鼓の伝承

- ・小中合同引き渡し訓練 [R6 小中合同登校時避難訓練]



【環境整備部】

- 学校に係る環境整備の推進

- ・除草作業
- ・運動場整備作業
- ・危険箇所洗い出し



[通学路の除草作業]

【ながら見守り部】

- 地域に関わる子どもの育成

- ・交通指導
- ・あいさつ指導

- ・地域行事への参加 [登校時の交通指導・あいさつ指導]



作業部会の熟議

【前年度第3回】
活動の振り返りと
次年度の方向性
検討

【本年度第1回】
部会ごとの
活動計画の作成

【本年度第2回】
部会ごとの
進捗状況確認

(例)学習支援部

【R6.2月CS】振り返りと方向性の検討

- ・あいさつ・ありがとうの文化は継続していく。
- ・様々な行事や学習と地域とのふれあいを継続していく。
- ・来年度は、豊魚祭の形が変わるようであるが、その中でも、子どもたちの活躍の場を保障していく取組を検討していく。

【R7.5月CS】活動計画の作成

○活動目標

地域とのつながりを広め、絆を深めよう！(鶴見郷土学の深化)

○活動計画(内容)

鶴見ふるさと文化祭、鶴見中文化祭、松小祭りを同日に開催できないかを検討する。

○共通テーマ(「あいさつ」「鶴見郷土学」についての活動)

- ・大人からの積極的なあいさつを行う
- ・地域行事にもできる限り子どもが関われる機会を増やす。

取組内容

成果

- ・第1回CSで作業部会ごとの活動計画が確定するため、取組が円滑に実施され継続につながる。
- ・作業部会ごとの取組が定着し、人の入れ替りに左右されないCSの運営体制が構築されている。

【鶴見中校区CS 作業部会の活動計画】

令和7年度 鶴見CS
(学習支援) 部会 活動計画

○鶴見郷土学と地域との関わりについて
○各地区の行事との関わりについて

1. 活動目標
地域のつながりを広め、絆を深めよう(鶴見郷土学の深化)!

2. 年間活動計画

月	活 動 内 容	活 動 計 画
1学期	○鶴見郷土学を地域協育コーディネーターを中心に地域の方々とふれ合いながらすすめていく。 ○夏休み：盆踊り、太鼓等伝承 ※鶴見音頭の伝承	○大人の放課後クラブ (毎月第3火曜) ○さざなみサロン (毎週木曜) ○沖松浦公民館祭り(予定) ○つるつるクラブ(一人暮らしの方の困りごと解決のためのボランティアグループ)
2学期	○ふるさと文化祭、鶴見中文化祭、松小祭り等での交流 ※3つの文化祭を同一日開催にできないか検討する。	○ふるさと文化祭 ○鶴見中文化祭 ○松小祭り ○小中合同引き渡し訓練 ○JAXA 宇宙教室
3学期		○Tsurumi 海の春祭り (地域貢献)

【共通テーマについての活動】

(あいさつ・ありがとうの文化)
大人から積極的にあいさつを行い、元気なあいさつを広げていく。
(鶴見郷土学)
学校行事に限らず地域の行事等でもできる限り子どもと関わる機会を増やす。

令和7年度 鶴見CS
(環境整備) 部会 活動計画

○除草作業や各校運動場の整備作業について
○各地区(コミュニティ会議)との関わりについて

1. 活動目標
すこやかな成長を支えるための環境整備

2. 年間活動計画

月	活 動 内 容	活 動 計 画
1学期	花壇整備 学校の草刈り	○中学生と厚生保護婦人会の方々による花壇の整備作業 ○定期的な環境整備
2学期	吹浦方面景道草刈りボランティア参加 危険箇所のあらい出し	○ネットワーク会議と連携してボランティア活動に参加する。 ○CS会議の議題に入れ、子ども、教職員、地域の様々な立場の人の目線で危険箇所について意見をあげる。
3学期	学校等の定期的な草刈り、環境整備 学校等の定期的な草刈り、環境整備	○定期的な環境整備

【共通テーマについての活動】

○振興局・・・青バトによるパトロール(児童・生徒の下校時刻に合わせて)
○学習環境として地域との協力(読み聞かせ、丸付け、花壇整備)→触れ合う機会を増やす。

令和7年度 鶴見CS
(ながら見守り) 部会 活動計画

○交通指導、地区行事等しながらの子ども見守りについて
○地区行事と子ども見守りとの関わりについて

1. 活動目標
地域と関わる子どもたちをめぐして

2. 年間活動計画

月	活 動 内 容	活 動 計 画
1学期	・交通指導 ・あいさつ運動 ・地域行事	○毎日の交通指導 ○交通指導とともにあいさつ運動も行う。 ○地域行事に参加し、子どもたちを見守っていく。 ○中学校に水と食料の備蓄をすすめていく。
2学期	(夏休み) ・盆踊り ・踊り、太鼓の伝承 ・交通指導 ・あいさつ運動 ・地域行事 ・小中合同引き渡し訓練	○太鼓、踊りを伝承していく。 ○盆踊り大会 ○小中合同引き渡し訓練の際の交通指導や見守り
3学期	・交通指導 ・あいさつ運動 ・地域行事	○1月とんど(老人会と子どもたちによる短冊づくり) ○海の春祭りに参加

【共通テーマについての活動】

(あいさつ・ありがとうの文化)
朝の交通指導等でこちらから積極的にあいさつ・声かけを継続していく。
(鶴見郷土学)
地域行事等でも子どもたちとのふれあいを多く検討していく。



【鶴見音頭の伝承】



【小中学生による鶴見ふるさと文化祭への参加】



【松小祭りでのCS関係者の出店】